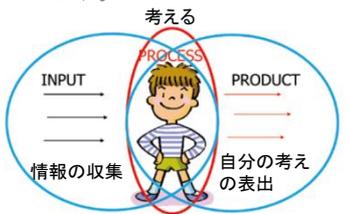


1 「総合的な学習の時間」の大切さ

☆全国学力・学習状況調査のクロス集計から、「総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて、情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでる学校ほど**平均正答率が高い**。」と報告されています。

☆**思考力・判断力・表現力の育成**のために、総合的な学習の時間を中心とした探究的な学習が有効です。収集した情報を、様々な考え方(Process)によって整理・分析し、自らの考え(Product)を明らかにしていく過程は、まさに思考力を発揮する場面であり、こうした学習活動こそが、思考力等を育成することにつながるからです。



2 「総合的な学習の時間」実施の難しさ・課題

- ★学校行事と関連した単元設定が多いため、児童生徒の考えや思いから課題設定等が行いにくい。
- ★資料を写し、書いてあることをそのまま発表するという表現が多くなってしまふ。

総合的な学習の時間
「探究的な学習と協同的な学習」

4 実践例

【対象へのあこがれから課題を設定する】

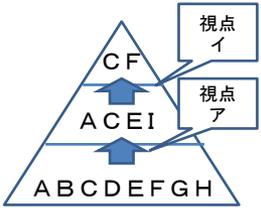
- ①地域の伝統芸能を知る ②地域の伝統芸能を体験する
 - ③携わる人の思いや願いを聞く ④よさや価値を実感し課題を見いだす
- ※様々な体験や収集した情報から課題を設定しています。



【ピラミッドチャートを使って実践する対策を絞り込む】

※課題への対策について視点に照らして話し合い、実践する対策を絞っていきます。

- ①考えた対策A～Hをどんな視点で絞っていくか話し合う
 - ②視点ア(大人も子どもも取り組めるか等)をもとに話し合う統合して新たな対策Iとすることもできる
 - ③視点イ(続けて行うことができるか等)をもとに話し合う
- ※視点を持つことで、判断基準のある話し合いが行えます。



【ポスターを作成するための話し合い活動】

※最も伝えたいことをキャッチコピーや写真、絵を用いてポスターセッションで表現します。

- ①収集した情報について意見交換を行い、整理・分析を行うための見方を複数得る
 - ②それを基に情報を選別・統合し、より伝わるキャッチコピーを作成する
 - ③学級内でポスターセッションを行い、聞き手が質問や意見、感想、助言を伝えることで、より伝わる表現に改善する
- ※聴き方にも「傾聴する」「クリティカル(批判的に)に聴く」「クリエイティブ(創造的に)に聴く」等いろいろな聴き方があります。日頃から意図的に聴き方を育てることで、話し合い活動が充実します。

3 「総合的な学習の時間」充実のポイント

★探究的な学習を行う

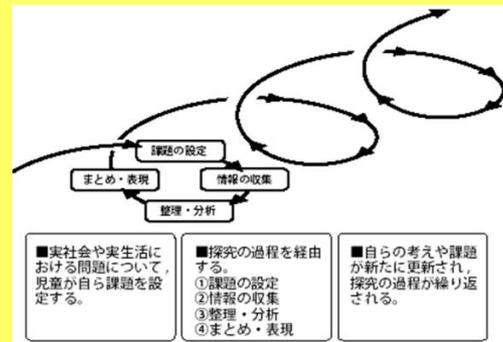
探究的な学習は、下図(探究的な学習における児童生徒の学習の姿)のように問題解決的な活動が**発展的に繰り返されていく**一連の学習活動です。

【探究の過程】

- ①課題の設定：体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ
 - ②情報の収集：必要な情報を取り出したり収集したりする
 - ③整理・分析：収集した情報を整理したり分析したりして思考する
 - ④まとめ・表現：気付きや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する
- 特に、「**課題の設定**」段階では、実社会や実生活における問題について、児童・生徒が自ら課題を設定することに重点をおきます。そのためには、意外性や違和感「気になるな」、必要感「何とかしたいな」、矛盾「解決したいな」等の身に迫った、切実感のある課題を設定します。このことで、単元を通じて探究的な学習を進めることができます。

また、「**整理・分析**」段階では、**思考ツール**を使って、収集した情報を可視化し、関係づけて考えたり傾向を見いだしたりして判断していくプロセスを大切にし、思考力・判断力を高めます。

【探究的な学習における児童生徒の学習の姿】



- 実社会や実生活における問題について、児童が自ら課題を設定する。
- 探究の過程を経由する
①課題の設定
②情報の収集
③整理・分析
④まとめ・表現
- 自らの考えや課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返される。

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(小学校編)

【思考ツール】

思考ツールは収集したたくさんの情報を整理し考えやすくする道具です。様々なツールがありますが目的に合わせて用いることが重要です。



(例) ベン図…
収集した情報を複数の視点で貼り分け、共通点などより重要な情報を見つけ出すことができます。

★協同的な学習を行う

○多様な情報を活用して協同的に学ぶ

- ・収集した情報を出し合い、グループや学級全体で考え話し合います。

○異なる視点から考え協同的に学ぶ

- ・経験者や専門家へのインタビューを基に話し合います。
- ・立場の違う人の意見を基に話し合います。

○力を合わせたり交流したりして協同的に学ぶ

- ・グループや集団で学習活動を進めます。
- ・地域の人や専門家など校外の人と交流して進めます。
- ・異なる学年や世代の人と協力して活動します。

